

くすのき便り 7号

九段幼稚園 預かり保育「くすのき」2025.2月発行

厳しい寒さが続くこの頃。子どもたちは、ひんやりとした空気を肌で感じながら、外に出て体を活発に動かして遊んだり、室内で好きな遊びにじっくりと取り組んだりしています。今年度もあと二か月を切りました。風邪やインフルエンザに負けず、預かり保育「くすのき」でも楽しく、元気にすごしてほしいと思います。今回のくすのき便りでは朗読ボランティアグループによる読み聞かせの時間について、校庭やピロティでの外遊びについてお伝えしたいと思います。

かもめさんの朗読会

「くすのき」では定期的に朗読ボランティアグループ「かもめ」の皆様が絵本を読みに来てくださいます。「今日はどんな本を読むのかな？」と子どもたちは楽しみに周りに集まってきます。読み聞かせが始まると、友達とのやり取りを楽しみながら、絵本のお話の世界を味わっています。



校庭、ピロティでの遊び



寒い時期は、室内で過ごす時間が長くなりがちです。「くすのき」では午前中の子どもの様子や過ごし方などを考え合わせて、おやつ後はできるだけ、校庭やピロティで体を動かして遊ぶようになっています。鬼ごっこをしたり、登り棒を登ったりと体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。3学期初めには風船を使った羽根つきをしました。「見て見て!こんなことができるよ。」校庭に子どもたちの弾んだ声が響きます。

㊦だんの くすのき ㊦まいる にこにこ ㊦んびり のびのび ㊦もちよく

『くすのき』では、のんびり、ゆったりとした雰囲気の中、一人一人の子どもたちが安心感をもって、自分のペースで自分の好きな遊びができる場となるように、また、自然に異年齢児と一緒に遊べる場となるように、願いを込めて保育を行っています。